

西之宮地区発生土仮置き場（その２）観測井戸の水質調査における
ヒ素濃度の基準値超過について（報告）

早川町西之宮地区発生土仮置き場（その２）（以下、本仮置き場という）における観測井戸（No.15）《別紙１参照》において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値 0.01 mg/L を上回るヒ素が検出され、2025 年 2 月 19 日に山梨県と早川町に報告した。なお、観測井戸（No.15）は、2022 年 1 月 26 日にも、環境基準値を上回るヒ素が検出されたが、本仮置き場に搬入した区分土及び区分土からの浸潤水が原因となった可能性は低いと結論付けている^{（注）}。

2025 年 2 月 19 日に山梨県と早川町に報告した以降、水質調査結果の分析及び専門家の助言を受けた結果、上記の現象は、本仮置き場に搬入した区分土及び区分土からの浸潤水が原因となった工事起因ではなく、地下水に元々存在するヒ素の一時的な変動であると推定されるため、「２．推定原因等」「３．今後の方針」を報告する。

（注）詳細は「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【山梨県】（平成 26 年 8 月）」に基づく中間報告書（その３）（令和 6 年 7 月）の「資料編 3-9-2-5 調査結果」参照

１．水質調査結果（2025 年 2 月以降）《別紙２参照》

① 観測井戸 No. 15 におけるヒ素濃度 (2/26 以降、1 回/週の頻度で実施)	② （参考）浸潤水タンクにおけるヒ素濃度 (搬出の都度実施)
○2/18（採水）、2/19（結果受領）： 0.012mg/L（基準値：0.01 mg/L を超過） ○2/26～11/5： 0.001mg/L 未満～0.005mg/L（基準値以下）	○2/6～10/6： 0.004mg/L～0.006mg/L（基準値以下）

※上記期間における観測井戸の水位変動はほとんどなかった（水位差 50cm）

２．推定原因等

観測井戸（No.15）におけるヒ素濃度の環境基準値超過は、工事起因ではなく、地下水に元々存在するヒ素の一時的な変動であると推定される。理由として以下 6 点が挙げられる。

- ① 本仮置き場の盛土底面に敷設した遮水シートは継目の溶着処理等を適切に施工しており、搬入済みの区分土に触れた雨水が原地盤に漏れ出すことは想定し難い。
- ② 浸潤水タンク等の設備は、施工業者が実施している日常点検及び 2025 年 2 月 20 日に山梨県が実施した調査において、設備の異常は確認されていない。
- ③ 発生土を運搬するダンプトラックに対して、過積載防止を徹底しており、また、ダンプトラックの荷台にはシートを敷設しているため、本仮置き場の所定の積み卸し地点以外で区分土が落下することは想定し難い。

- ④ 環境基準値 0.01 mg/L を上回るヒ素が検出された 2025 年 2 月 18 日前後に浸潤水タンクに回収した浸潤水の調査結果は全て環境基準値を下回っており、浸潤水が観測井戸（No.15）のヒ素濃度の環境基準値超過の原因になったとは想定し難い。
- ⑤ 2022 年 1 月 26 日にヒ素濃度の環境基準値超過（0.011mg/L）が発生し、以降、浸潤水のヒ素濃度によらず、地下水のヒ素濃度ピークは毎年 0.01mg/L 前後で推移している。
- ⑥ 本仮置き場は、ヒ素の他にフッ素濃度の基準値および酸性化可能性試験の基準値を超過した区分土を搬入している。過去、浸潤水タンクにて集水した浸潤水において、ヒ素の他に、フッ素や pH が環境基準値に適合していない時期があった（※）。仮にこれらの浸潤水が流出していた場合、ヒ素以外でも地下水中の濃度に変動が生じると考えられるが、ヒ素以外の濃度に変動は見られない。《別紙 3 参照》（※基準値に適合しない浸潤水は産業廃棄物として適切に処分している）

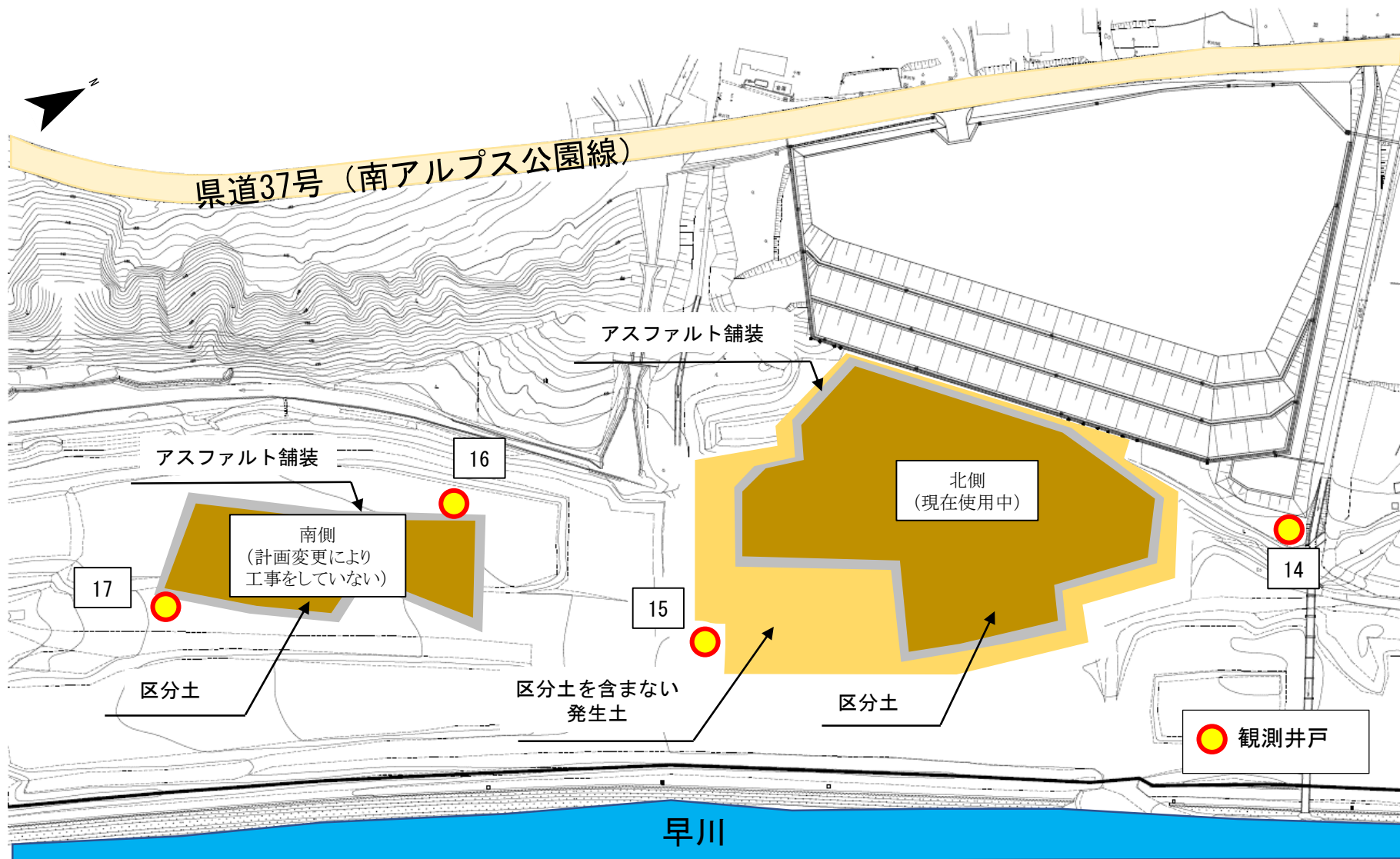
3. 今後の方針

- 「2. 推定原因等」に記載のとおり、工事起因ではなく、地下水に元々存在するヒ素の一時的な変動であると推定されることから、観測井戸（No.14・15）の水質調査を現在の週 1 回から月 1 回の頻度での調査に変更する。
- 2025 年 2 月 19 日以降、本仮置き場へ搬入停止していた区分土（ヒ素）の搬入を再開する。
- 今後、本仮置き場周辺の観測井戸におけるヒ素濃度の環境基準値超過発生時は、山梨県及び早川町へ速報、設備点検、発生土運搬状況の確認、浸潤水の水質調査を行う。設備や発生土運搬状況に異常が確認されず、浸潤水もヒ素濃度の環境基準値を超過しておらず、地下水中のヒ素以外の項目の濃度に異常が確認されない場合には、工事起因ではないものとし、調査頻度の変更や区分土（ヒ素）の搬入停止は行わないものとする。



(国土地理院地図を加工して作成)

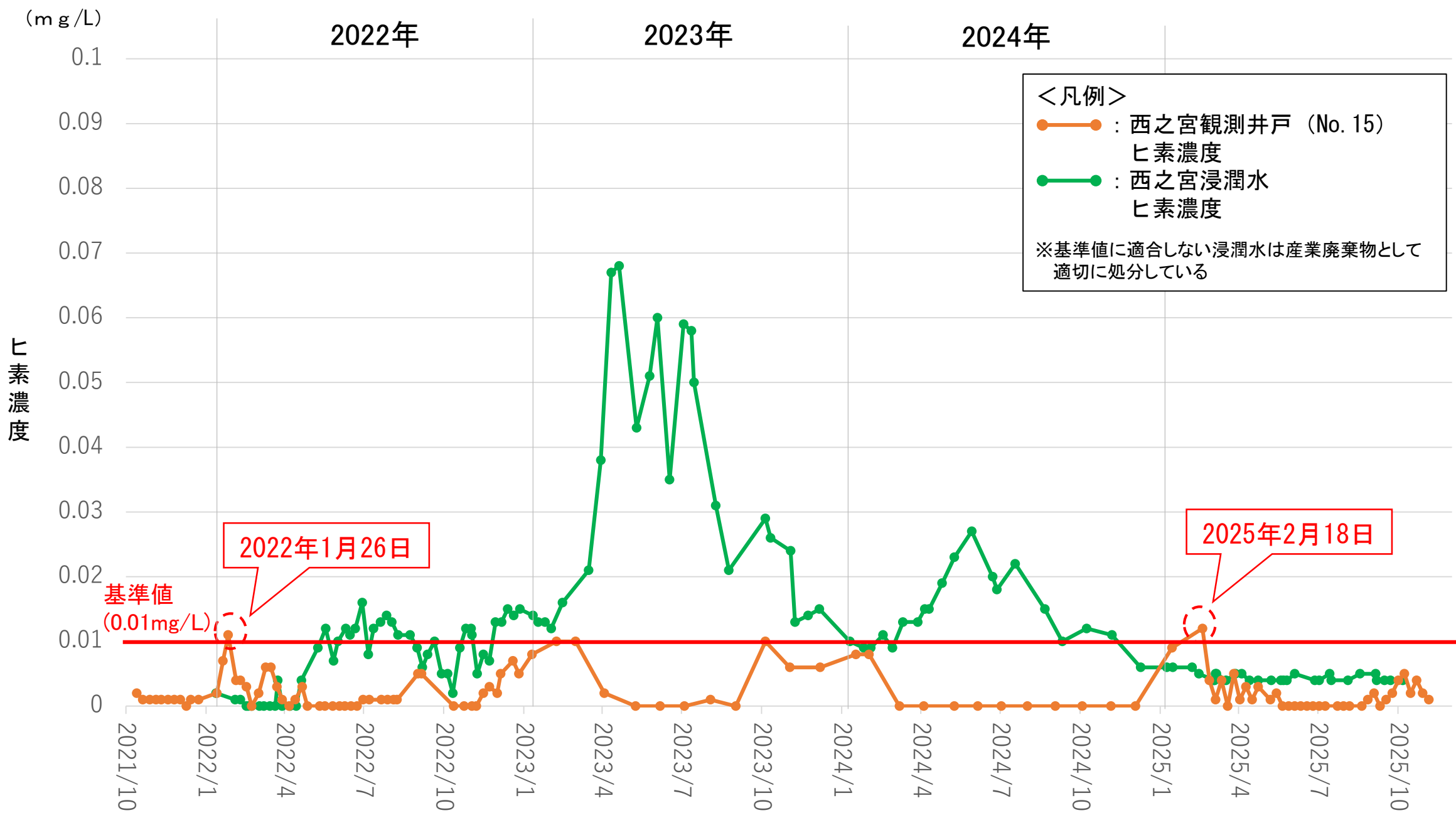
早川町内西之宮地区（その2）発生土仮置き場 観測井戸位置図

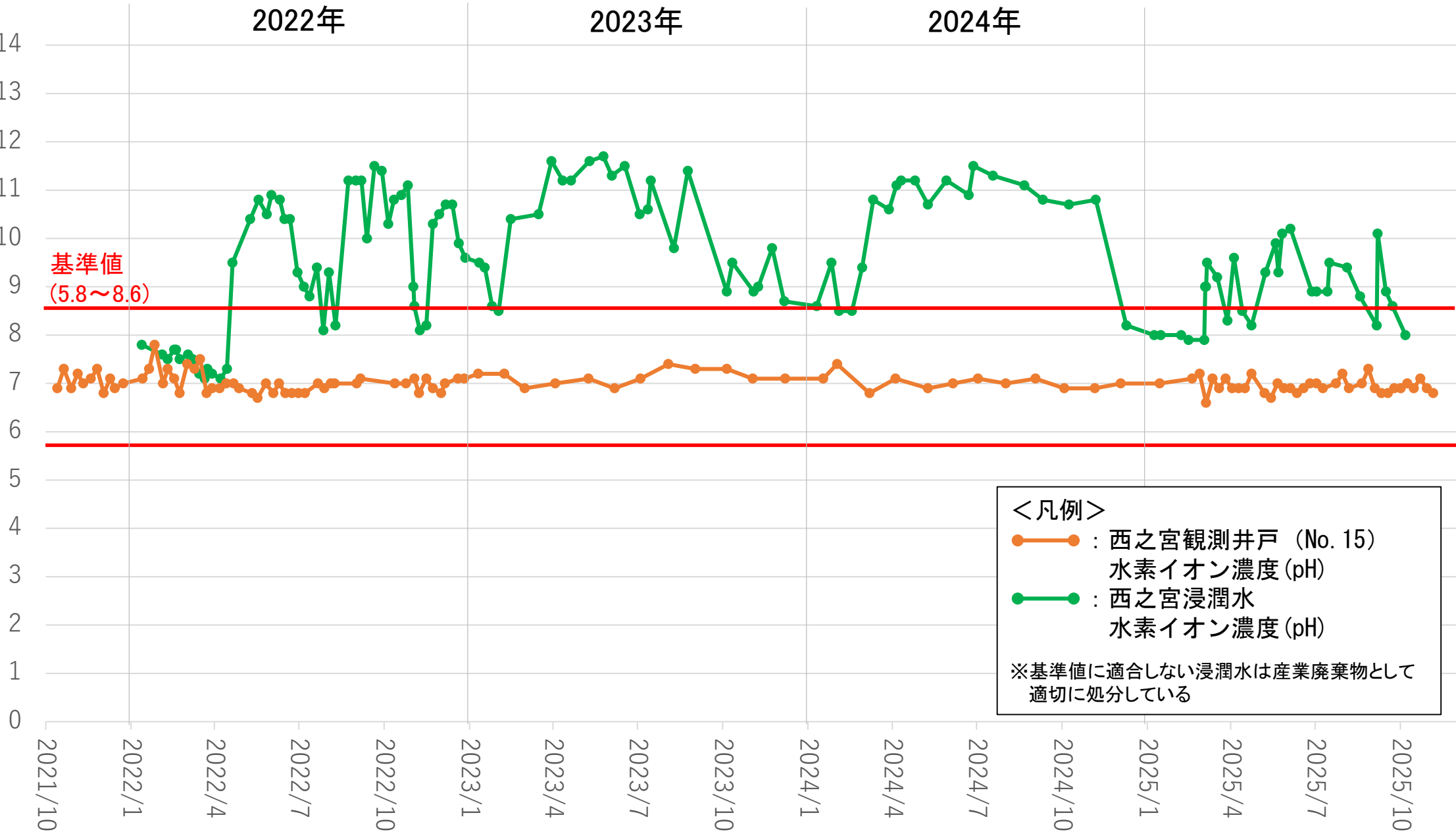


※地点16、17 は、西之宮発生土仮置き場南側の計画変更により工事をしていないため2023年度以降の調査は実施していない。

(本図は自社の測量成果物を用いている)

観測井戸(No.15)ヒ素濃度と浸潤水ヒ素濃度推移(計測開始以降)





観測井戸(No.15)フッ素濃度と浸潤水フッ素濃度推移(計測開始以降)

